

神戸学生青年センター センターニュース

KOBE STUDENT YOUTH CENTER NEWS No.101

No.101

発行所 (公財)神戸学生青年センター

理事長 飛田 雄一

館長 朴 淳用

〒657-0064 神戸市灘区山田町3丁目1-1

TEL (078) 851-2760 FAX (078) 821-5878

Yamada-cho 3-1-1, Nada-ku

Kobe, 657-0064 Japan

E-mail info@ksyc.jp

URL http://ksyc.jp



日中戦争への旅 —加害の歴史・被害の歴史—

神戸・南京をむすぶ会代表

宮内 陽子

宮内陽子さんは、神戸・南京をむすぶ会の代表で訪中団の団長です。この度『日中戦争への旅—加害の歴史・被害の歴史—』(2019.12、合同出版、1600円+税)を出版されました。その活動を振り返る原稿をお願いしました。本書は送料とも1600円で発売中です。郵便振替<00930-6-310874 神戸・南京をむすぶ会>でご送金ください。12月20日には宮内さんの講演会(センター18:30~)、出版記念会(びーあん20:00~)があります。問い合わせはセンター内同会まで。(飛田)



「神戸南京をむすぶ会」(以下「むすぶ会」)は、1996年に「丸木位里・俊とニューヨークの中国人画家たちが描いた南京1937絵画展」を開催した実行委員が、一度南京に行ってみようと思い立ってつくった市民団体で、神戸学生青年センターに事務所を置かせていただいています。今年で23回目となる旅(第9回から兵庫県在日外国人教育研究協議会との共催)を重ねています。

「むすぶ会」の旅はおおむね8月15日を挟む一週間です。15日には南京大屠殺遇難同胞記念館(以下記念館)で追悼式典に参加します。この式典は、かつて「アジア・太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ、心に刻む会」が行っていた追悼行事の流れを汲んでいます。記念館では、高齢の幸存者(中国では虐殺からかろうじて生き残り、生き抜いてきた人々を尊敬の気持ちを込めてこう呼びます)が暑い中を来られて、私たちのために思い出すのも辛い事件の記憶を語ってくださいます。貴重な証言を直接お聞きできることを有り難く、また申し訳ないと感じます。その後市民に交じって記念館を参観します。館内には写真、映像、模型などにより、南京事件に至る道のり、虐殺をはじめ街並み・生活の破壊、性暴力、物資や文化財の略奪など事件の全体像を展示しています。また、市民を守った国際安全区の活動も紹介しています。15日の前後には、虐殺や埋葬の場に建てられた追悼碑を巡り、犠牲者に黙とうを捧げます。

南京訪問のあと年替わりで、日本軍の侵略、植民地支配の跡地も訪問しています。北はロシアとの国境近くの虎

頭要塞、南は海南島、東は台湾、西は雲南まで、そして大きな戦場の場だけでなく、小さな村を襲い民衆をも巻き込んだ、中南京、小南京と呼ばれる出来事を学び、日本軍の加害行為が人々の心身をいかに傷つけたか、生活を破壊したかを心に刻みます。日本人が訪れるのは初めて、という場所もあります。また侵略、戦争が終わった後も続く沢山の苦難と、日本の戦争責任を問う闘いについても学びます。

旅を続ける中で同時に侵略した側のこと、遠い故郷を離れ、補給も受けずに「死ぬより辛い」といわれた行軍を続け、戦友の死を目の当たりにし、残虐な行為に手を染め、そして戦死しても遺体も収容されなかった日本軍兵士のことも思うに至りました。

加害、被害が何層にも重なりあう戦争の実相に触れ、何があっても戦争をしてはならない、という戦争、戦場体験者の思いに少しでも近づくことを目指しています。この貴重な旅の経験を一人でも多くの方々と分かち合いたいと考え、毎年報告会を開き、報告集を出しています。またこのたび9年間の旅を「日中戦争への旅—加害の歴史・被害の歴史」にまとめて出版しました。12月20日には神戸学生青年センターで、この本についての報告会を開きます。ぜひお越しください。

「むすぶ会」は来年の旅も計画中です。学生枠を設け、若い人の参加も呼び掛けています。皆さんの参加をお待ちします。

写真/宮内陽子さん、2019.8.15南京

現代キリスト教セミナー

神戸大学教授・塚原東吾さんの講座「オリンピックとカジノ万博は現代のバベルの塔か?—科学技術とプロテスタンティズムの倫理—」。塚原さんが『福音と世界』2019年8月号に同名の論文に「これらのメガイベントは、ノアの洪水に対してきわめて脆弱な場に建てられるバベルの塔(なう)ではなかろうか。だとしたら、これもバルト的な「危機」ととらえられているのではなかろうか」と書かれています。科学史・科学哲学が専門の先生から科学史そのものも学ぶことができました。



塚原東吾さん 11.14

朝鮮史セミナー

『韓国歴史ドラマの再発見—可視化される身分と白丁—』(解放出版社)を出版された大阪人権博物館館長・朝治武さんを講師に開催しました。歴史ドラマをほとんど観た、という講師の話は専門の部落史との関連もふくめて含蓄の深いものでした。



朝治 武さん 9.11

陶芸教室atelier【es】の作陶展「華」

学生センターロビーギャラリーで陶芸教室atelier【es】の作陶展「華」が開催されました。食器、花器、オブジェなど、みなさんの力作がたくさん並び、とても華やかな4日間でした。



作陶展 11.7-10

林賢宜さんの韓国料理教室

9月はどんぐりムク・タッゲジャン、10月はなすとささみの冷菜・えごまの葉っぱのしょうゆ漬け、11月は韓国風おからのチゲ・クラゲのからし和えを学びました。どんぐりムクとは、どんぐりの粉を寒天で固めた伝統料理です。林賢宜先生の教室では幅広い韓国料理を学べます。材料費が上がっているため、次回から参加費を少し値上げさせていただきます。ご協力お願いいたします。



どんぐりムク 9.7

高作先生と学ぶ会

「2019年参議院選後の政治と社会」(9月)、「公共施設における表現の自由「表現の不自由展」を念頭に置いて」(10月)、「憲法53条と臨時国会の召集義務」(11月)と勉強会が開かれました。

高作先生は「米軍基地問題の基層と表層」(2019.2、関西大学出版部)で、安全保障、沖縄米軍基地問題を論じられています。学ぶ会のブックレット『2017年通常国会における改憲論議一転換点としての5月3日—』(2018.1、センター出版部、600円)



高作正博さん 9.21

クリスマスフェア
開催中



森風社の木工製品

宿泊に...



1泊お1人様
3,300円より
グループなら
2,750円より

宿泊・会議室ともに、ご予約は12カ月前より承ります
料金は税込。()内の金額は学生料金です。単位:円
キャンセルの場合は前日50%、当日80%ちょうだいします

■宿泊料金(税別)定員42名 チェックイン:18:00-22:00
チェックアウト:9:00

部屋名	定員/広さ	利用人数による一人あたりの宿泊料金(単位:円)
和室A	8名 12畳 20㎡	2-3人 4,000 (3,500) 4-6人 3,500 (3,000) 7-8人 3,000 (2,500)
和室B/C	各3名 7.5畳 12㎡	1人 4,000 (3,500) 2人 3,500 (3,000) 3人 3,000 (2,500)
和室D	12名 17.5畳 30㎡	3-6人 4,000 (3,500) 7-9人 3,500 (3,000) 10-12人 3,000 (2,500)
ベッドルーム(8室)	各2名 4㎡	1人 3,000 (2,500) 2人 2,500 (2,000) *

(就学前のお子さま) 引率の大人一人につき一人無料
※ただし布団を使われるお子様は1,000円+税/人、2人目からは小学生料金(小学生のお子さま) 大人料金の半額
(中学生以上のお子さま) 学生料金

会議に...

ゼミ・会議・講演会に



多目的ホール、
会議室5室、和室4室

就学前のお子さまは、引率の大人一人につき一人無料
二人目からは学生料金をちょうだいします

■会場使用料(税別)

営業目的の会場使用は一般料金の倍額

部屋名	広さ	9:00-12:00	13:00-17:00	18:00-22:00
ホール	120㎡	6,700 (5,700)	7,600 (6,700)	7,600 (6,700)
会議室A	40㎡	3,100 (2,700)	3,600 (3,100)	3,600 (3,100)
会議室D	30㎡	3,100 (2,700)	3,600 (3,100)	3,600 (3,100)
スタジオ	20㎡	3,100 (2,700)	3,600 (3,100)	3,600 (3,100)
サロン室	33㎡	3,100 (2,700)	3,600 (3,100)	3,600 (3,100)
会議室C	15㎡	2,700 (2,200)	3,100 (2,700)	3,100 (2,700)
和室A	12畳	3,100 (2,700)	3,600 (3,100)	この時間は 利用できません
和室D	17.5畳	3,100 (2,700)	3,600 (3,100)	この時間は 利用できません
和室B/C	7.5畳	2,700 (2,200)	3,100 (2,700)	この時間は 利用できません

●営業目的の会場使用は、10割増となります。
●ピアノ使用は1,000円+税(スタジオ)、3,000円+税(ホール)



ベッドルーム



多目的ホール

ご予約は... ☎078-851-2760



●阪急六甲より徒歩2分
●JR六甲道より徒歩10分
●新幹線新神戸よりタクシー15分

食料環境セミナー

9月はアควアスフィア・水教育研究所の代表橋本淳司さんより、生きる上で欠かせない水という資源をどう捉えるべきなのか、公共の福祉を侵害する経済論理、世界における水道の再公営化の動きなどについて教えて頂きました。国内では昨年12月に改正水道法が成立し、これまで各自治体が担ってきた水道事業の供給責任、施設の所有権は維持しながらも、その運営権を民間企業に売却する「コンセッション方式」が選択できるようになったことによって、料金の高騰、水質の悪化、災害対応の懸念、さらには命に直結するインフラを海外企業に掌握されるリスク、採算が取れなければ冷酷に撤退されるリスクなどについて説明して頂きました。

10月は國學院大學名誉教授の大崎正治さんより、「有機農業で未来を拓くー身土不二で自然とともに生きよう」というテーマでお話して頂きました。有機農業の意味と意義、身土不二＝地産地消であり、有機農業から未来を設計するには、現代社会がおこした危機には5つの間違っただ固定観念があること、またその内容について丁寧に説明して頂きました。現代の人類史的危機を解決するには、有機農業の意義と可能性は、環境や農業だけでなく、工業やサービス業などの他産業を含めた多様な視点と、さらには経済面以外の人間関係や社会文化の領域に及んで追求していく必要があることを教えて頂きました。

11月は神戸の石炭火力発電を考える会の菊井順一さんより、神戸市灘区で運転中の2基の大型石炭火力発電所に加えて、新たに2基の巨大な石炭火力発電所(65万KW×2基＝130万KW)の建設が計画され2022年以降は4基になる予定で、この巨大な石炭火力発電所から、大量のCO2(約690万トン)だけでなく、硫酸化物、窒素酸化物、ばいじんなどの大気汚染物質も長期にわたって排出されていることを説明して頂きました。今、神戸で増設が進められる巨大石炭火力発電所から排出されるこれら大気汚染物質によって、将来、神戸市域の大気環境にどのような影響があるのか、どのようなリスクが考えられるのか、近時、課題となっているPM2.5にも着目し、過去から現在に至る大気汚染の推移を振り返りながら一緒に考えてみる時間を頂きました。



橋本淳司さん 9.25



大崎正治さん 10.23



菊井順一さん 11.27

土曜ティーサロン

午後のひと時、お茶とお菓子を頂きながら、海外の楽しいお話を聞いています。9月は「イスラエルとエジプトの歩き方～世界72ヶ国1人旅」大阪女学院高校教員の篠塚義春さん、10月は「ジョージア(グルジア)の歩き方」神戸市の野村麻裕さん、11月は「中国・四川省の歩き方～四川省・川劇・変面」六甲奨学基金奨学生で変面継承者の江玉さんがお話し下さいました。毎月第1土曜日午後3～4時に開催、参加費無料ですので皆さんの御参加お待ちしております。



篠塚義春さん



江玉さん

韓国語手話講座

11月に全3回の講座を開講しました。受講生は4名、日本語手話通訳ができる人も。私はまったくの手話初心者で韓国語が一応できるので参加しました。「手話は言語だ」というあたりまえのことを認識できました。卒業イベントで手話劇をしようという提案もありましたが、自信のない私が足をひっぱってしまいました。来年5月ごろに全5回の講座を開催する予定です。(H)



날씨가 어때요?

「天気はどうですか?」

朝鮮語・韓国語講座

学生センターの朝鮮語・韓国語講座では、2020年春から火曜日に新たに「入門クラス」を開講する予定です。関心のある方はぜひ一度見学してみませんか?現在開設されている水曜日夜「楽しく話そう韓国語(初級2)」、木曜日夜「上級」、金曜日午前「話してみよう韓国語(初級1)」、「応用クラス」、金曜日夜「初級」も楽しく勉強しています。関心のある方はぜひ一度参加してみてください。

定期利用

グループ・教室のご案内

- ◆六甲トレーニングサロン……………
月曜日・前9～12:00
前田先生 0797-35-5588
- ◆からむい会(絵更紗)……………
第1・3月曜、第2・4木曜・後1～5:00
連絡先・小塚 078-731-3694
- ◆すぎなコース……………
月曜日・前10～12:00
連絡先・大谷 078-861-0338
- ◆神戸女声合唱団……………
金曜日・前10～12:00
連絡先・岡 邦子 078-291-0855
- ◆創作アップリケ……………
第2・4月・金曜日・前10～12:00
第1・3火曜日・前9～後5:00
柏原先生 078-821-4632
- ◆ノイエカンマーコール(混声コーラス)……………
土曜日・後6～9:00
連絡先・西山・080-5704-5406
- ◆ヨガ体操……………
火曜日・前9:30～12:00
廣瀬先生 078-851-8851
- ◆アトリエ太陽の子(児童絵画)……………
木曜日・後1～5:00
中嶋先生 078-858-7301
- ◆六甲ボーカル……………
第1・3木曜日・前10～12:00
池本先生 078-861-8724
- ◆こうべこーる恵(コーラス)……………
火曜日・前10～12:00
連絡先・田附 0798-26-2169
- ◆ステンドグラス・アトリエとも……………
第2・4木曜・後1～5:00
幸坂先生 078-582-0644
- ◆全球連会員・熊内そらばん六甲教室……………
火曜・後3～9:00、土曜・後1～4:00
奥野先生 078-241-1095
- ◆テコンド……………
毎週金曜日・後6～9:00
連絡先・妹尾 090-9846-8241
- ◆稽議会空手道……………
毎週月曜日・後4～10:00
連絡先・藤本 078-842-5669
- ◆すずめの学校(ニューヨークタイムズ紙を読む会)……………
第2・4水曜日 前10:00～12:00
連絡先・桑原 0798-74-4512
- ◆前田書道会……………
火曜日・前9～後5:00
連絡先・前田先生 078-385-1650
- ◆音楽の杜(リトミックピアノ教室)……………
土曜日・前9～後5:00
連絡先・桂先生 078-891-3419
- ◆Rokko kids English Club……………
木・金 幼稚園クラス・親子クラス
LaurenceDrew先生
連絡先・山本 070-5509-4403
- ◆イースト神戸トーストマスターズクラブ
英語スピーチクラブ……………
第4土曜日 後1:30～4:00
連絡先・山下 090-8365-9118
- ◆崑曲勉強会……………
第3日曜日 後1～5:00
連絡先・村田 078-806-8243
- ◆神戸フィラデルフィア教会 聖書の会……………
日曜日・前10:30～12:00
連絡先・松田 080-2522-9863
- ◆神戸いのりのとき合唱団……………
月3回土曜日・後6～9:00
連絡先・松本 090-3923-0794

お問合せやお申込は、各グループ・教室に直接ご連絡ください。

※当センターへの寄附金は、①所得控除または②税額控除が受けることができます。賛助会費、六甲奨学基金募金の両方に適用されます。詳しくはセンターにお問い合わせください。

(公財)神戸学生青年センター賛助金 2019.9.1～2019.11.30(敬称略・単位円)

すぎなコーラス 3,000	片桐陽 10,000	石塚明子・健 3,000	杉田年章・杉田典子 5,000	砂上昌一 3,000	小若順一 10,000	福田登 20,000
田添禎雄 3,000	森下慧岳 5,000	島津恒敏 10,000	藤江新次 3,000	加輪上俊彦 10,000	井出朗子 3,000	乾眞理子 5,000
はんでんの会 10,000	宮本博志 3,000	高橋治子 3,000	森哲二 3,000	飛田雄一 10,000	山本美幸 3,000	大石恵理子 2,000
柏崎千佳子 5,000	石塚久則 1,000	梶谷懐 5,000	朴京守 1,000	宇野雅美 3,000	武藤迪子 5,000	田中宏明 3,000
花岡光義 3,000	徐聖寿 3,000	橋田計雄 5,000	福島俊弘 3,000	後藤玲子 5,000	飯塚和彦 3,000	
女を修理する男上映 実行委員会at神戸 12,500	水野雄二 5,000	金野昌子 3,000	松永浩美 3,000	大森悦子 3,000	梁壽龍 3,000	計 94件
小笠原正仁 3,000	荻原邦子 5,000	永井靖二 3,000	中山一郎 3,000	信長正義・信長たか子 6,000	岡野清 5,000	415,500円
足立龍枝 3,000	中塚明 3,000	岩村義雄 3,000	今中成吉 10,000	加納花枝 5,000	河瀬敦忠 2,000	以上感謝をもって
田原良次 3,000	下西ユキヨ 3,000	森行雄 3,000	今井眞理 5,000		植村満 10,000	領収いたしました。
中勝博志 5,000	高石留美 7,000	松田泰二 3,000	李美於 3,000			
坂井永利 3,000	兵頭晴喜 3,000	長岡基浩 1,000	谷井尚子 3,000			
伊藤悦子 3,000	林祐介 3,000	林賢宜 5,000	間一孝 3,000			
朴善丙 5,000	原田紀敏 5,000	大津洋子・敏雄 3,000	原和美 3,000			
神谷重章 3,000	小直直哉 10,000	新井久子 3,000	藤原精吾 5,000			
西八條敬洪 2,000	井坂弘 3,000	梁勝則 10,000	小川文夫 2,000			
中道澄春 1,000	柳到亨 5,000	四方田文夫 3,000	横山正代 1,000			
	山脇喜子 3,000	安聖民 3,000	日下大器 3,000			
	藤原純一 3,000	三原翠 5,000	勝村誠 5,000			
	上田眞佐美 3,000		藤永壮 3,000			

賛助金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000

※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。

※送金方法

郵便振替 01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター

備考欄に「賛助金」とお書きください。

銀行振込 三井住友銀行 六甲支店 0779663

公益財団法人 神戸学生青年センター 賛助金

六甲奨学基金

2019.9.1～2019.11.30(敬称略・単位円)

柏崎千佳子 5,000	紙藤眞理子 3,000	後藤玲子 5,000
田原良次 3,000	橋田計雄 5,000	松下宜且 10,000
三木洋美 5,000	松田泰二 3,000	李俊憲 3,000
崔相鐵 5,000	松下宜且 10,000	岩本光雄 10,000
井上淳子 3,000	一居誠 10,000	武藤迪子 5,000
三宅宏司 3,000	李俊憲 3,000	玉岡昇治 5,000
田口恵美子 3,000	山名行夫 3,000	若島礼子 3,000
中島孝幸 10,000	中山一郎 2,000	松下宜且 10,000
高石留美 3,000	今井眞理 10,000	李俊憲 3,000
林みち代 5,000	谷井尚子 3,000	計 35件 182,000円
原田紀敏 5,000	間一孝 3,000	毎月募金会計 36,000円(千円:菱木康夫、金早雪、高仁宝、信長正義、信長たか子、加畑和子、飛田雄一、
無名氏 5,000	萩川イ子 3,000	二千元:福田菊、三千元:白川豊)
李圭燮 5,000	岩城定雄 10,000	古本市による協力 46,698円 総計 264,698円 以上感謝をもって領収いたしました。

六甲奨学基金ご協力をお願い

●賛助会費：一口 A3,000 B5,000 C10,000

※いずれも一口を単位としますが、何口でも結構です。

※送金方法

郵便振替 01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター

備考欄に「奨学金」とお書きください。

銀行振込 三井住友銀行 六甲支店 0779663

公益財団法人 神戸学生青年センター 六甲奨学基金

セミナーの記録

2019.9.1～2019.11.30

食料環境セミナー

505回9月25日「水道民営化で水はどうなるのか」橋本淳司さん
506回10月23日「有機農業で未来を拓くー身土不二(地元のものを食べて健康に)で自然と共に生きようー」大崎正治さん
507回11月27日「神鋼石炭火力発電の増設計画と神戸市域の大気汚染を考える」菊井順一さん

朝鮮語・韓国語講座

楽し話そう初級2 毎週水曜日 朴玲実さん
夜上級 毎週木曜日 尹智香さん
夜初級 毎週金曜日 文雅炫さん
話してみよう初級1 毎週金曜日午前 朴玲実さん
応用 毎週金曜日午前 林賢宜さん

韓国語手話・秋

11月1日～22日全3回
アンダンテサンヨンさん

林賢宜さんの韓国料理教室

9月7日どんぐりムク・タッケジャン
10月5日なすとささみの冷菜・えごまの葉っぱのしょうゆ漬け
11月2日韓国風おからのチゲ・クラゲのからし和え

六甲奨学基金

日本語サロン 毎週月・土曜日

現代キリスト教セミナー

11月14日「オリンピックとカジノ万博は現代のバベルの塔か?—科学技術

とプロテスタンティズムの倫理—」塚原東吾さん

朝鮮史セミナー

10月4日「韓国歴史ドラマの再発見ー可視化される身分と白丁ー」朝治武さん

土曜ティーサロン

9月7日「イスラエルとエジプトの歩き方ー世界72国1人旅ー」篠塚義春さん
10月5日「ジョージア(グルジア)の歩き方」野村麻裕さん
11月2日「中国・四川省の歩き方ー四川省・川劇・変面ー」江玉さん

その他のセミナー・行事

9月1日ミャンマー関西「ミャンマー民

主化への道ー民主活動家のお話と映画ー」(共催)

9月21日高作先生と学ぶ会「2019年参議院選後の政治と社会」高作正博さん(共催)

10月19日カトリック社会活動神戸センター「冤罪はいまも・私はわらじがぬがれない」古川泰龍の足跡を辿る講演と展示(後援)

10月26日高作先生と学ぶ会「公共施設における表現の自由[表現の不自由展]を念頭に置いて」高作正博さん(共催)

11月16日求める会収獲感謝祭
11月30日高作先生と学ぶ会「憲法53条と臨時国会の召集義務 岡山・沖縄・東京で提訴された裁判がテーマ」高作正博さん(共催)

小さな古本市(常設古本市)

学生センターロビーの片隅&廊下には作り付け本棚があり、一年中、文庫と新書を販売しています。学生センターに来られた時にはのぞいてみてください。掘り出し物があるかも??第23回六甲奨学基金のための古本市開催に向けて2020年2月15日より本を集めます。

ご協力お願いいたします。

